

旧赤松家だより

平成30年7月18日



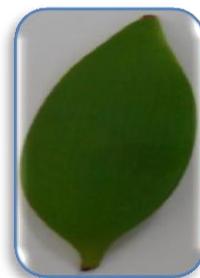
本格的な夏を迎え、緑陰が恋しい毎日です。

旧赤松家庭園・水屋の側には「ナギノキ」が立っています。マキ科の常緑樹で、針葉樹なのに広い葉っぱを持つ珍しい植物です。また、その葉脈は縦方向にのみ平行に伸びています。そのため、葉脈方向に引っ張ってもなかなか切れないことから、昔から大変縁起の良い木といわれています。その昔、女性が鏡の裏側にこの葉を入れ、夫婦の縁が切れないようにと願ったそうです。また「ナギ」は海面が穏やかな様子を表す「凧(なぎ)」に通じ、海上安全への信仰ということから海辺の神社などに植えられることが多いようです。

ナ
ギ
ノ
キ



赤松家のナギノキは、いつだれが植えたのかはっきりしていませんが、もし則良が植えたとしたら、造船や海軍に深く関わってきたことから「海の安全」を祈願したのでしょうか。また、家庭を大事にしたといわれる則良ですので、赤松家の繁栄と家内安全を願ったのかもかもしれません。



ナ
ギ
ノ
キ
の
葉

内蔵ギャラリーでは7月18日から『四季の風景写真展』（向笠デジカメクラブ）が開催されています。撮影者それぞれの感性で切り取った個性あふれる四季の写真をお楽しみください。

内蔵ギャラリーのご案内

『四季の風景写真展』

開催期間：7月18日（水）～ 7月31日（火）

*休館日 7月23日（月）、7月30日（月）

開催時間：午前9時～午後4時30分

（最終日は午後3時まで）

入場料：無 料

出展者：向笠デジカメクラブ

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展
示
作
品
よ
り